



経済情報コーナー

経済交流イベント「Delicious Healthy Miyagi」の開催

宮城県の醸造品（日本酒・味噌）を姉妹提携している米国デラウェア州で売り込んできました！

宮城県経済商工観光部国際経済・交流課 上村 哲也

宮城県では、海外との交流の活発化による県経済の活性化および県政の発展を目的とした「みやぎ国際戦略プラン（第2期）」を平成22年3月に策定し、「経済のグローバル化推進」と「みやぎの国際的知名度向上」を基本方針とした各施策を展開しています。

その施策展開の基本的な考え方では、これまでに築いた海外自治体等との交流基盤を活用し、本県企業の海外販路開拓・拡大や外資系企業誘致に関する取り組みをより効果的に実施することとしています。本事業もその一環として、(財)自治体国際化協会の「平成22年度海外経済活動支援特別対策事業」の支援をいただき、米国デラウェア州との姉妹県州関係の活用により宮城県産品の販路開拓を図るため実施したものです。

本県と米国デラウェア州は、平成9年から姉妹県州関係を締結しており、学生等の人的交流を中心に相互の理解を深めてきました。友好交流10周年を記念し、平成19年に本県知事が訪米した際には、州知事と経済交流を推進していくことで合意しており、これに伴い、地元産品の紹介や企業間のマッチングなど経済分野での交流を進めています。

■ 宮城県の醸造品

今回、米国デラウェア州への販路開拓のために紹介する宮城県産品は、米国市場の動向と輸送時間等の地理的要因を踏まえ、米国で認知度が高い「日本酒」と米国人の健康志向に合わせた「味噌」にスポットを当てました。

本県は、日本全国数ある酒どころの中でも、伝統ある酒造りの技とともに良質な米や水などの地の恵が備わった最良の銘酒どころであり、高品質で個性ある地酒造りをしている蔵元が多くあります。

また、安全で高品質な米麴と大豆からつくられる辛口赤味噌の代表である仙台味噌は、400年以上前から伝わる伝統の製法と近代的な技法が駆使され、歴史の味を今に伝えています。

以上のことから、日本食文化が浸透しているだけではなく、食の安心・安全や健康志向の高まりを見せている米国市場のうち、未開拓市場であり、かつ、姉妹県州関係を活用できる米国デラウェア州をターゲットに、良質な日本酒や味噌などが多く醸造されているという本県の強みを活かして、宮城県の醸造品を紹介するイベント「Delicious Healthy Miyagi」を県内の醸造企業の協力を得て平成23年2月に開催しました。



イベント会場

■ Delicious Healthy Miyagi

イベントは、米国デラウェア州内で最も大きいホテルを会場に選択し、現地の料理関係者や貿易・流通関係者、政府関係者の約50名を招待し、宮城の地酒と仙台味噌の紹介に関するセミナーとテイスタリングを行うことで、宮城県の醸造品の理解を促進するとともに、参加者との商談や意見交換の機会を創出するものです。

まず、セミナーでは、日本酒および味噌の製造工程と種類をニューヨーク在住のSakeソムリエや宮城県の味噌醸造企業から提供いただいた資料等により解説し、宮城県の醸造品に関する基礎知



セミナーの様子

識を提供することですでに流通している商品との差別化を図りました。

テイスティングでは、日本酒醸造企業が用意した日本酒とニューヨークに店舗を構える日本食の料理人と会場ホテルのシェフが調理した仙台味噌の創作料理をテーブルに配膳し、日本酒と料理の解説を聞きながら試飲・試食するテーブル形式と、仙台味噌料理と日本酒の各銘柄を自由に試飲・試食しながら日本酒醸造企業や料理人・シェフとの意見交換等を行う立食形式の二部構成で実施し、日本酒の飲み方や味噌の美味しい食べ方など、参加者の店舗や家庭での使用につながるアイデアを積極的に提供しました。

なお、このイベントを効果的なものとするため、本県の戦略には三つのポイントがありました。

①醸造品としての紹介

日本酒と味噌を個々に紹介するのではなく、日本酒に合う味噌料理又は味噌料理に合う日本酒として両者の関係性を強調した紹介を行い、パッケージによる取引や未着目品目の取引促進を図りました。

②県内企業の協力

米国への輸出販売には、輸入業許可や成分検査、商品ラベルの登録等のほか各州政府に対する免許申請等に6カ月以上の期間を要することから紹介する醸造品の商機を逸さないためにも、すでに米国市場への参入を果たし、輸出手続が省略できる県内企業から協力をいただきました。

③イベントの対象者

宮城県の醸造品がデラウェア州民に浸透するためには、商品を口にすることおよび手に取ることが出来る場所の創出が大前提であることから、イベント参加者は料理関係者や貿易・流通、

政府関係者に限定しました。

また、会場としたホテルを単なるイベント会場と考えるだけでなく商談相手として捉え、ホテルのシェフを巻き込んだイベントを開催することで、会場ホテルとの取引実現を目指しました。



地元新聞記事



テイスティングの様子

■ 事業の成果など

経済交流イベント「Delicious Healthy Miyagi」には、当初の予定どおり約50名の参加者を得たほか現地メディアやフードライターによる取材もあり、宮城県の醸造品に対する関心が多く寄せられ、大変盛況に終えることができました。また、なかには商談に繋がる案件もいくつか確認されました。

今後は、紹介商品の取引実現に向けた支援のほかに、新たな宮城県産品の販路開拓に向けた取り組みを継続的に実施していく必要があると考えています。

また、本事業は、宮城県からデラウェア州に対する一方的な売り込みではなく、例えば、宮城県の産品(味噌)とデラウェア州産の食材(地鶏)をコラボレーションすることで、本県産品の販路開拓とともにデラウェア州産食材の消費促進に繋げるなど、姉妹関係を活用した両県州の連携事業の一つであり、両県州間の理解が深まるとともに、信頼関係が強化されたことも成果として挙げられます。

最後になりますが、本事業を、「平成22年度海外経済活動支援特別対策事業」に採択していただき、現地ニューヨーク事務所での多大な支援と協力をいただいた(財)自治体国際化協会に深く感謝申し上げます。

昨今の姉妹都市交流が親善・友好交流から経済交流へと移りつつある中、本事業が、今後の姉妹自治体間における国際交流活動の参考になれば幸いです。